

平成 26 年 度

旭丘中 学校便り

第 2 号

練馬区立旭丘中学校：発行 5月

自分を知る。

校 長 山 谷 安 雄

新年度がスタートして、歯科検診を始め、学校では身体計測や様々な健康診断を行っています。事前に病気等がないかを検診するために実施しています。それだけでなく、自分を知るための大きな資料になります。

中学生という年代は、生きる世界が急速に広がる頃です。そして、夢をもちそれに向かって、何をするのか考える頃でもあります。自分自身についても、何もできない自分と、全てのことができる自分という評価が毎日のように入れ替わって、得意になったり、落ち込んだりする頃だと思えます。「自分を知る」ことの大切な場面は、中学生でしたら、進路選択です。自分の得意な分野を伸ばすことが第一と言われますが、自分の評価と進んだ進路が大きく異なる人が過去にいました。中学校の時に英語が得意で、都立の国際高校に入りました。中学生の時に英検〇級も取って、高校後の進路は、英語関係と周りも本人も思っていました。しかし、選んだ大学は、理学部の数学科でした。理由は、国際高校の周りの生徒は、もっと英語ができる人がいて、他の生徒より成績が良かったのが数学だったので、その道を選んだそうです。また、養老孟司先生の話では、偏差値だけで医学部に進学した人がいて、(人体)解剖がどうしてもできなくて、その都度、貧血と嘔吐を起こして、その為に進路変更をした人もいます。自分を知ることは、自分の人生でも大切ですが、周りの人の人生にも大きく影響を与えてしまうことがあります。会社の社長は、努力して上り詰めた結果です。経営者としての能力が無かったら、会社は倒産して、社員が路頭に迷ってしまいます。大人になっても、自分を知る努力は必要です。

中学生が「自分を知る」手立ては、9教科をしっかりと学んで、学校生活を送り、何が自分に合っているか探すことから始まります。何が自分に向いているか、自分の判断だけでなく、多くの人意見を聞くことも大切です。また、置かれた環境も大きいと思います。先日、科学雑誌ニュートンに運動神経は遺伝するかという内容で、結論的には、科学的に遺伝するという明確な証拠はない。誤差の範囲であると言うことが書かれていました。それ以上に、置かれた環境が大きいとも書かれていました。「門前の小僧習わぬお経を誦んじる」というのは、良い例です。いろいろ考えましたが、我々大人と違って、子供は、無限の可能性ががあります。しかし、いくら無限と言っても期待が大きな負担となつては、精神的に追い詰められ潰れてしまいます。不幸なのは、できるのに、本人が見切ってしまう、あきらめてしまうことと、できないのに無理やりやらされて、いやいや毎日を送っていることです。親としてやるべきことは、適切なアドバイスをし、子供を励まし、壁にぶつかったときに、すぐにあきらめないように、潰れない程度のストレスを日頃から与えながら我慢強く育てることだと思います。

《生徒の活動の様子》

○2年生校外学習



5月9日（金）に2年生が校外学習を行いました。D組の生徒数名も各班に加わり、都内めぐりを行いました。

浅草や上野、スカイツリー等いろいろまわりました。時間に遅れたり、はぐれたり、失敗もありましたが、失敗から学ぶことも大切です。



【江戸東京博物館】

【真下からのスカイツリー】

○部活動の大会結果

- ・野球部 練馬区春季大会 2回戦敗退
- ・サッカー部 練馬区春季大会 1回戦敗退
- ・バスケットボール部男子 第3ブロック春季大会 1回戦敗退
- ・ソフトテニス部 第3ブロック春季大会
 - 女子 個人戦 ダブルス 坂井・鶴木組 4位
- ・バドミントン部 練馬区春季大会
 - 男子 団体 準優勝
 - 個人戦 シングルス 5位 松坂君
 - ダブルス 優勝 田村・中村組
 - 女子 団体 5位
 - 個人戦 シングルス 3位 荻原さん
 - ダブルス 3位 杉森・生方組

・演劇部 新入生歓迎公演「フカノウの向こう側」を4月25日（金）本校多目的室で行いました。小学生や保護者と在校生合計68名が見に来てくださいました。素晴らしい演技でした。

《これからの行事》

- ・5月16日（金）1年生の川越校外学習があります。
- ・5月17日（土）から19日（月）3年生の修学旅行があります。
- ・5月31日（土）に本校で運動会が予定されています。